

プロジェクトリーダー：瀬戸市立図書館

事業実績調書

(1) プロジェクト名	高校生読書活動推進プロジェクト
(2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）	<p>大学コンソーシアムせと加盟大学の学生と協働して、このプロジェクトの運営を実現できた。大学生が、若い感性を活かしたアイデアを取り入れて、様々な取り組みを企画・運営した。それらが、地域社会への貢献の場・他大学との交流の場となった。普段の学校生活とは違った体験を、自らの成長につながる機会とすることができた。</p> <p>また、YouTubeでビブリオバトルの様子を配信したり、Twitterで学生運営委員のおすすめ本を紹介したりと、SNSを活用して情報発信を行い、多くの方々に読書の魅力を発信することができた。</p> <p>これらの成果により、高校生の読書への関心が高まり、不読率の改善に繋がっていくと考えている。</p>
(3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	<p>4月1日～6月14日 学生運営委員の募集・学生運営委員の決定 金城学院大学2名、名古屋学院大学2名、名古屋産業大学2名、南山大学3名</p> <p>5月14日 第1回プロジェクトメンバー打ち合わせ ＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞プロジェクトメンバー5名 ＜内容＞スケジュール、ビブリオバトル開催内容の検討、学生運営委員の活動内容</p> <p>6月30日 第1回学生運営委員会 ＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞学生8名、プロジェクトメンバー4名 ＜内容＞ビブリオバトルの概要説明、活動内容の確認、ビブリオバトル開催内容の検討</p> <p>9月2日 第2回学生運営委員会 ＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞学生7名 ＜内容＞ビブリオバトル役割分担、チラシのデザイン、高校生読書活動啓発グッズの検討、SNSを使った広報活動の検討</p> <p>10月27日 第3回学生運営委員会 ＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞学生8名 ＜内容＞ビブリオバトル来場記念品の検討、ビブリオバトルのルール等の詳細を検討</p> <p>11月26日 第4回学生運営委員会 ＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞学生7名 ＜内容＞ビブリオバトル役割分担の最終確認、公式Twitterによる発信内容の検討</p> <p>11月26日 公式Twitter「大学コンソーシアムせと高校生読書活動推進プロジェクト学生運営委員会2021」の運用開始 ＜内容＞学生運営委員がおすすめ本の紹介などの情報を発信する。 ＜運用期間＞2月28日まで</p>

11月28日 「大学コンソーシアムせと ビブリオバトル2021」

＜会場＞パーティせと4階 マルチメディアルーム

＜参加者＞33名

内訳：学生運営委員9名、発表者5名〔大学生4名（学生運営委員兼務2名含む）、高校生1名〕、事務局3名、プロジェクトメンバー5名、参観者13名

＜内容＞ビブリオバトルの実施

11月28日 「大学コンソーシアムせと ビブリオバトル2021」をYouTubeで配信開始

＜内容＞YouTubeチャンネル「瀬戸市立図書館」でビブリオバトルの動画を一般公開する。

＜公開期間＞3月31日まで

1月12日 第5回学生運営委員会

＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞学生7名

＜内容＞ビブリオバトルの反省事項、読書啓発グッズの検討

1月17日 第2回プロジェクトメンバー打ち合わせ

＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞プロジェクトメンバー5名

＜内容＞ビブリオバトルの反省事項等

2月1日 第6回学生運営委員会

＜開催方法＞Zoomによるオンライン会議 ＜参加者＞学生8名

＜内容＞読書啓発グッズの検討

2月16日 2021年度「大学コンソーシアムせと」活動成果報告会

＜会場＞瀬戸蔵4階 多目的ホール ＜発表者＞事務局1名

＜内容＞今年度事業の活動成果報告

2月25日 読書啓発グッズの製作

＜内容＞「ビブリオバトル2021」発表本の紹介チラシ・オリジナルデザインのクリアアイルを作製して、高校に配布する。

（4）プロジェクトの今後の課題と展望

高校生の読書への関心を高めるイベントとして、ビブリオバトル2021を開催することになった。そのため、発表者を市内在住または在学の高校生に限定して募集した。しかし、応募があったのは、高校生1名のみだった。応募者が少なかったのは、ビブリオバトルの開催日が高校のテスト期間に重なってしまったことが原因と考える。来年度は、高校のスケジュールを確認し、高校生が参加しやすい日程でビブリオバトルを開催することで、高校生の参加者数の増加を目指したい。

また、瀬戸市立図書館では長期にわたって継続的にビブリオバトルを開催している。その結果、地域にビブリオバトルが定着してきていると考える。今後も継続して開催することで、ビブリオバトルに対する地域社会の関心を高め、読書や図書館の魅力を発信する機会としたい。